

稲沢厚生病院 外科



【当院の理念】

私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します。

【当院の特色】

稲沢厚生病院は愛知県稲沢市南西部に位置し、尾張西部医療圏に属するケアミックス型病院です。愛知厚生連を母体とする8病院の内の一つで、全ての科が名古屋市立大学の関連病院となっています。総合病院として精神科病床を有する愛知県内では数少ない病院の一つです。地域の災害拠点病院となっており、臨床研修指定病院として毎年研修医も受け入れています。平成27年11月の南館新築に伴い、病院名を「尾西病院」から「稲沢厚生病院」に改め、地域密着病院として医療、保健、福祉の総合展開を図っています。

当院の外科は4名体制で、消化器外科を中心に一般外科や乳腺外科を主に診療しています。手術件数は年間250~280件で近年推移しており、全身麻酔が約180例、緊急手術が約50例です。胃・大腸の消化管癌は年間50~60件で、大腸癌の8割は腹腔鏡下手術を行っています。肝胆膵の悪性腫瘍手術も積極的に手がけています。このたび内視鏡外科学会技術認定医1名が在籍するようになり、今後腹腔鏡下手術の適用範囲を拡大していきたいと考えています。また、非常勤医として乳腺専門医の定期的な診療もあり、乳癌症例も増加しています。

| | |
|--------------------|------|
| 病床数 | 300床 |
| 手術件数(2016年) | 269件 |
| 日本内視鏡外科学会 技術認定医 | 1名 |
